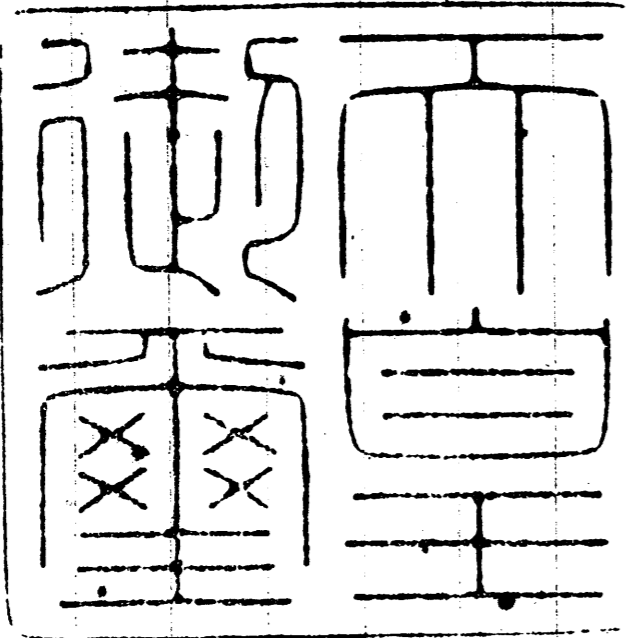


勅令第千百四十四號

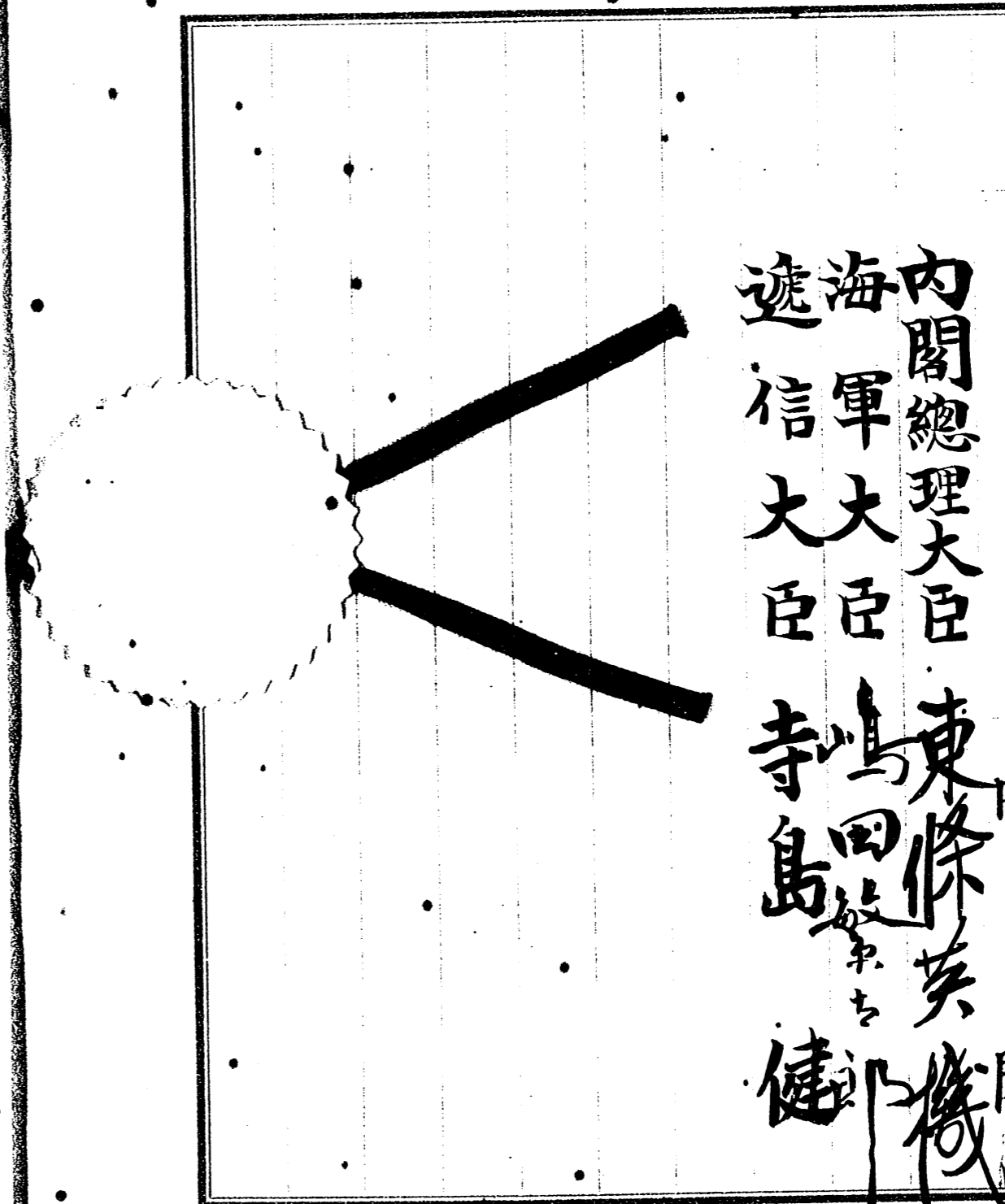
朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ海務院官制  
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十六年十二月十八日

内閣總理大臣 東條英機  
 海軍大臣 嶋田繁太郎  
 遞信大臣 寺島健郎



勅令第千四百四十四號

海務院官制

第一條 海務院ハ遞信大臣ノ管理ニ屬シ水運、船舶、苦船、船員  
 其ノ他海事ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 海務院ニ長官官房及左ノ五部ヲ置ク

總務部

運輸部

船舶部

船員部

航路部

長官官房ニ於テハ人事、文書及會計ニ關スル事務及ニ他ノ主管

附

閉

ニ關セザル事務ヲ掌ル

總務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 海軍ニ關スル綜合計畫ノ決定其ノ他重要海軍政策ノ綜合編

整ニ關スル事項

二 外地海軍行政トノ連絡ニ關スル事項

三 水運事業ノ監督及助成ニ關スル事項

四 船舶ノ保護ニ關スル事項

五 海事情報、海軍調査及海軍思想普及ニ關スル事項

運航部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 船舶ノ管理ニ關スル事項

二 水上運輸ニ關スル事項

三 港灣運送業ノ監督及助成ニ關スル事項

四 運航用資材ニ關スル事項

船舶部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 造船ニ關スル事業ノ監督及助成ニ關スル事項

二 造船及船舶修繕ニ關スル事項

三 船舶ノ積量測度、検査及登録ニ關スル事項

四 船舶用資材、機件品其ノ他船舶用品ニ關スル事項

船員部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 船員ノ使用ニ關スル事項

二 船員ノ監督及保護ニ關スル事項

三 船員ノ教育及養成ニ關スル事項

内閣

四 船員ノ指導及訓練ニ關スル事項

航路部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 港務、水路、水先、航法及海難ニ關スル事項

二 燈臺其ノ他ノ航路標識ニ關スル事項

三 航路標識附屬ノ設備ニ依ル氣象觀測ニ關スル事項

航路部ニ横濱出張所ヲ置キ航路標識用品ノ試験、製造、修繕、

調達及配給ニ關スル事項ヲ掌ラシム

横濱出張所長ハ事務官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 海務院ニ左ノ職員ヲ置ク

長官 勅任

次長 一人 勅任

部長 五人 勅任

書記官 專任九人 奏任

事務官 專任二十三人 奏任

海務官 專任四人 奏任

技師 專任二十二名 奏任 内二人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

標識技師 專任三人 奏任

屬 專任九十九人 判任

技手 專任四十人 判任

標識技手 專任六百十二人 判任

前項ニ規定スルモノノ外遞信大臣必要ト認ムルトキハ標識技手俸給豫算定額内ニ於テ豫備員トシテ標識技手二十人以内ヲ置ク

コトヲ得

第四條 前條ノ職員ノ外遞信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得

第五條 海務院ニ參與十五人以内ヲ置キ院務ニ參與セシム

參與ハ遞信大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル參與ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第六條 長官ハ遞信大臣ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ統理シ所屬職員ヲ指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス但シ船員ノ教育及養成ニシテ海軍豫備員候補者トシテ必要ナル事項ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮監督ヲ承ク

第七條 次長ハ長官ヲ佐ケ院務ヲ掌理ス

第八條 部長ハ上官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第九條 書記官及事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十條 海務官ハ上官ノ命ヲ承ケ海運・汽船又ハ船員ノ教育・養成若ハ勞務管理ニ關スル事務ヲ掌ル

第十一條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十二條 標識技師ハ上官ノ命ヲ承ケ航路標識ノ保守及運用並ニ

氣象觀測ヲ掌ル

第十三條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第十四條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第十五條 標識技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ航路標識ノ保守及運用並

ニ氣象觀測ニ從事ス

第十六條 航路標識ノ種別、名稱及位置ハ遞信大臣之ヲ定ム

第十七條 第三條第二項ノ標識技手ハ海陸院ノ事務ニ臨時從事セ

シムルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

燈臺局官制ハ之ヲ廢止ス

附 則

内 閣